

戦没者遺骨鑑定全体の全体像

参考資料

平成11年度（DNA鑑定を実施するための検体採取を開始）以降の収容柱数：**43,442柱**

検体を採取できた柱数：**11,642柱**

検体を採取できなかった柱数：**31,800柱**

DNA鑑定人会議で身元特定のための鑑定が行われた柱数：**8,237柱**

DNA鑑定人会議で身元特定のための鑑定が未実施である柱数：**3,405柱**

今回の
・ロシアの1事例
・ミャンマーの2事例
(計41柱)

※ DNA抽出が可能かの研究のためにDNA鑑定を行った結果、DNA鑑定人会議において日本人の遺骨でない可能性が指摘された10柱（令和元年11月15日発表のフィリピンの事例）

DNA鑑定人会議において身元判明（=日本人）した柱数：**1,160柱**

DNA鑑定人会議において日本人でない遺骨が収容された可能性が指摘された埋葬地に係る柱数：**597柱**
(令和元年9月19日発表のロシアの9事例)

DNA鑑定人会議において身元特定に至らなかった柱数：**6,480柱**

今回の
・ロシアの3事例
・ツバルの1事例
(計53柱)

○ …今後日本人でない遺骨が収容された可能性が指摘される可能性のある遺骨

※令和元年8月末時点